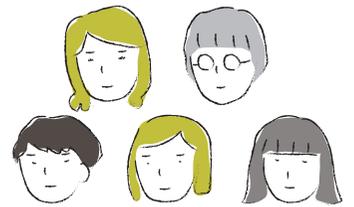


### ビエイにまつわるハナシ

# ポテンシャルのコト

美瑛の町を取り巻く環境は、近年猛烈なスピードで変化しています。その中で、普段あまり気にすることが少ないけれど、ふと疑問に思うコト。そんな疑問から地元・美瑛をより良く理解するためのちよつと真面目なお話です。



2024年民間組織「人口戦略会議 報告書」で、上川管内23市町村のうち5割を超える12市町村が将来的に消滅の可能性があると報告された。前回の14年調査から旭川市など5市町が消滅可能性自治体から脱却した。美瑛町はその脱却した町のひとつである。

役場に「まちづくり推進課 移住定住促進室」が誕生してから町の移住政策で移住した方々は、延べ300人を超えている。美瑛町の自然減が年間約130人で、新生児誕生が30人から多くて40人なので、ここ数年は人口が横ばいとなってきた。

そんななか、引っ越してきた方々によく言われるのが：

**「美瑛ってほんとポテンシャルが高い町ですよー！」**

という言葉。そもそもポテンシャルとは何か調べてみると「潜在的な力。可能性としての力。」(デジタル大辞泉)とあり、一般的にはまだ発揮されていないが将来的に発展・成長する可能性がある力や能力のことを表すようだ。つまり美瑛町は、能力はあるがまだ発揮できておらず、成長する可能性がある町だと他地域の方からは思われているということだ。

「ポテンシャルがある町」と言われると、その町は今後大きく発展し成長する可能性が秘められているというイメージが湧く。長く住んでいる町民は今の美瑛町をどう思っているだろうか？ 他地域から来る方々はその美瑛町のポテンシャルを最大限に生かし、事業にしていこうと考える方も最近多いようだ。長く住む住民には気が付かないことや、今まで美瑛にはなかった技術や発想・思考もあり、様々なイベントが行われたり、事業が進められている。しかし、町の発展や充実には外部からのアイデアだけでは続かないのではないだろうか。

色々な立場の方が町のコトをたくさん考えてくれて、素晴らしい企画もたくさんあるのだが、基本は地域住民と協力し、地域の人々が主体的に関わるような設計があるとよい。

具体的には地域の声も聞き、住民の想いやニーズを反映させた取り組みが望ましいが、そのポテンシャルの活用が短期的なイベントやプロモーションに留まらず、長期的な視点で発展を目指すべきで、地域の資源を無理なく活用しつつ、新しい価値を創出できるよ

うな内容であってほしい。

外部からの観光客を呼び込むだけでなく、地域住民も楽しめる持続可能な「仕組み作り」というコトになるのだろうか。

出た！ この言葉！

## 「仕組み作り」

では、いつ・誰が・どうやってその仕組みを作るのか？

それは決して大手の企画会社ではないかと思いたい。自分たちが住む町だ。ずっと住んでいる人も、美瑛を選んで引っ越して来た人も、やはり自分たちで考えなくてはならないのだ。

そもそも、地域資源を最大限に生かしながら、私たちはどんな町にしたいのだろうか？ どのような発展を望んでいるのだろうか？ 美瑛が持つ独自の文化や歴史・自然・産業など、他の地域にはない「個性」は何なのか？ を考えなければならぬ。

そしてそのためには、まず最初に地域の魅力を自分たちが知り、共有するというコトが必要なのかもしれない。うむ。びえいのコトを考えるきっかけに。

## 町の人に聞いてみた 美瑛のポテンシャル

世界を魅了する景観、圧倒的な認知度

場所、タイミングで素敵な景色に何度も出会える

雰囲気の良いカフェや美味しい飲食店がある

農作物が新鮮で美味しい

公園や室内の遊び場(ビエール等)が多く子供を遊ばせやすい

魅力的な登山のコースがある

移住者が珍しくなく、受け入れ態勢も整っている

趣のある良い温泉がたくさんある

ワーケーションに向いている

移住者が多いことで、様々な価値観や経験の持つ人と出会える

豊かな自然を活用したアクティビティなどの開発余地がある

有名観光地特有の擦れた感じ、ガチャガチャした雰囲気が少ない

etc... あなたはどんな魅力が思い浮かびましたか？